

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和元年11月8日(金)
霧島市立牧園中学校 2年生50名
5・6校時(13:50~15:40)
県立埋蔵文化財センター
隈元・湯場崎・尾川(縄文の森)

1 5校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。	5	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
	2 本時の目標をつかむ。 自由民権運動の高まりと士族の反乱について考えよう。			
展開	3 自由民権運動の高まりについて考える。 (明治政府)富国強兵、殖産興業を進めて日本を強い国にする(対立) (板垣・江藤)大久保の政治は独断で行っている。議会を作りみんなで議論して決めるべき ↓ 1874年民撰議員設立の建白書 自由民権運動の出発点	10	○ 明治政府(大久保)と板垣・江藤らの考え方の違いに着目させる。	
	4 士族の反乱について考える ① 士族たちは何に不満を持っていたのか考える。 ② 士族たちの反乱の詳細について知る。	20	○ 廃刀令や秩禄処分等、士族の特権を明治政府が廃止していった。 ○ 九州・山口で起こった士族の反乱について地図で確認する。 ○ 弾薬略奪事件や西郷暗殺計画等が遠因になったことを説明する。	○ プレゼンテーション ○ 大まかな西郷軍・政府軍の進路と主な戦闘記載の地図 ○ 牧園町内の堡塁の跡の地図
	5 西南戦争についての理解を深める。 ・西南戦争の概略を説明する。 ①政府と私学校生との対立 ②西南戦争の経過について 熊本城攻め→田原坂の戦い→高熊山での激戦→笠取峠での戦い→都城での戦い→延岡での戦い→城山決戦			
	6 西南戦争後の自由民権運動について考える。 政府への批判は、戦いによるものではなく言論によるものになる。 大隈重信→国会の早期開設を主張 ↓ 伊藤博文は政府から追放、10年後に国会の開設を約束。 板垣退助→自由党 大隈重信→立憲改進黨	10	○ 学校近辺でも戦闘が行われたことを知る。 ○ 高熊山激戦地跡で発掘された銃弾を裏見する。	○ 発掘された銃弾 ○ プレゼンテーション
終末	7 本時のまとめをする。 自分の住む校区内で、日本の歴史を左右する大きな出来事があったことを知り、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人達の働きについて考える。	5	○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

(3) 評価

・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。